

2025年 1月 吉日

【 解体工事のお知らせ 】

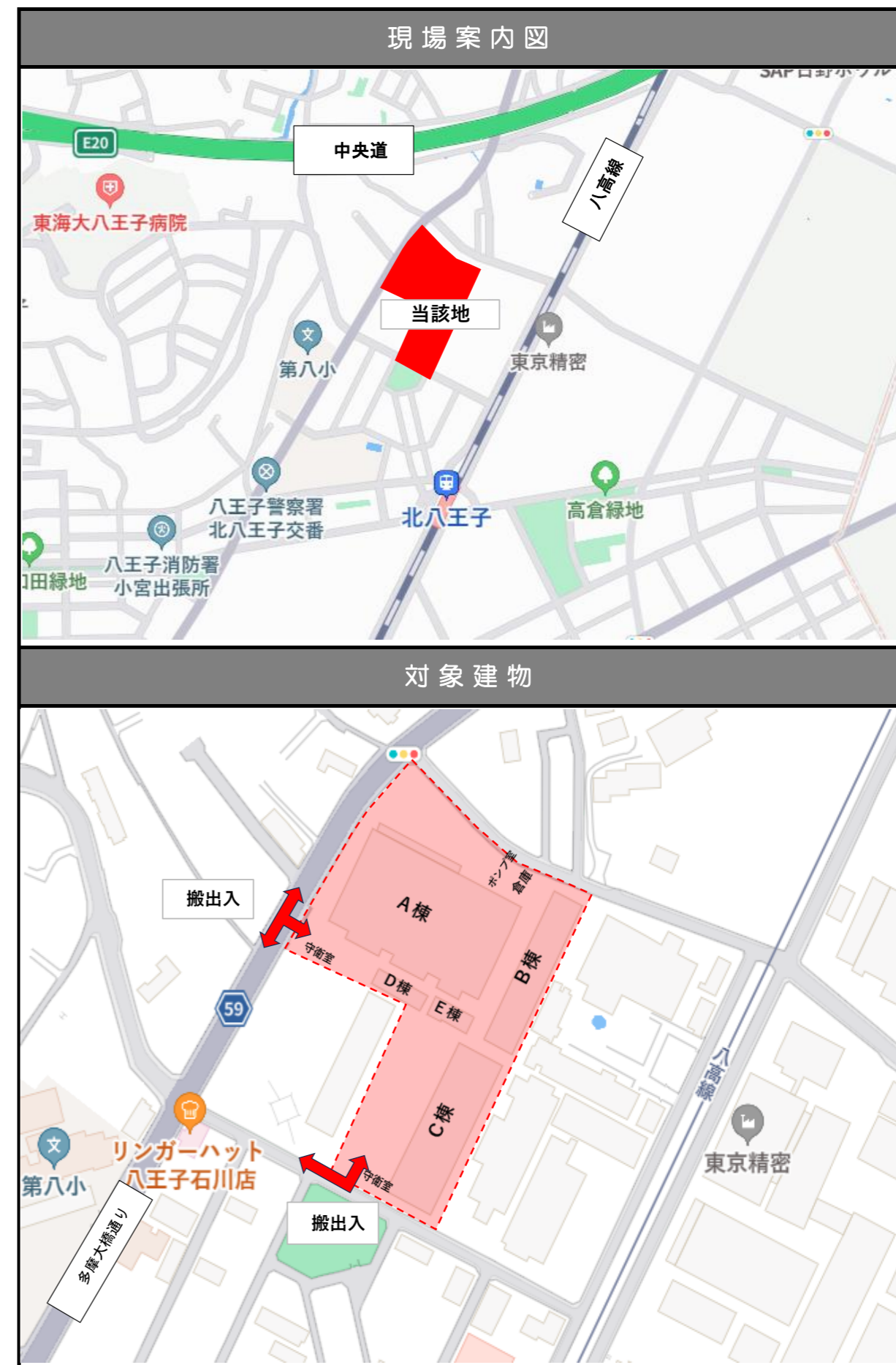
施主 八王子特定目的会社
施工者 株式会社エイワ産業 東京支店

(仮称)DPL 八王子石川町に伴う解体工事

ご近隣の皆様におかれましては、ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。
この度、東京都八王子市石川町2967-1他(右図赤枠内建物)において解体工事を実施しますので本書面でお知らせ致します。
本解体工事に際しましては、周辺の皆様方にご迷惑をお掛けすることと存じますが、災害防止、安全確保に留意して、ご迷惑を極力少なくするよう努めて参る所存で御座います。ご理解、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

【 解体工事の概要 】

- 1：対象建物 所在地：東京都八王子市石川町2967-3
建物概要
A棟：S・RC造 地下1階地上5階建（延べ床面積：9627.47㎡）
B棟：S造 地上3階建（延べ床面積：6798.33㎡）
C棟：RC造 地上5階建（延べ床面積：11826.6㎡）
D棟：RC造 地上5階建（延べ床面積：1188.86㎡）
E棟：S造 地上2階建（延べ床面積：520.23㎡）
その他：ポンプ室（24.69㎡）危険物倉庫（9.33㎡）西守衛室（22.68㎡）
南守衛室（19.09㎡）
- 2：工期 2025年2月17日～2026年12月16日
※現場状況・天候状況・関係諸官庁の指導等により変更が生じる場合があります。
- 3：作業時間 午前8時 ～ 午後5時
(作業時間の前後1時間程度、作業員の入退場及び準備作業、片付けが有ります。)
- 4：連絡先 解体工事に関して、質問等がございましたらお手数ですが下記宛てにご連絡下さいますようお願い申し上げます。
- 施工者 東京都港区東新橋2丁目11-3 第2小川ビル3階
株式会社エイワ産業 東京支店
電話：03-5425-6395（代表）
担当：佐藤 順一郎
- 5：アスベストについて
アスベスト含有の事前調査の結果によりアスベストが確認されています。
除去方法、管理対策につきましては別紙「アスベストの除去について」にて詳細を記載させていただきます。



※現場状況・天候状況・関係諸官庁の指導等により変更が生じる場合があります。

(仮称)DPL八王子石川町に伴う解体工事 工程表 (2025年2月17日~2026年12月16日) 全工期22ヶ月

年月 工事内容	2025年											2026年													
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
仮囲い・ゲート設置	●——●																								
A棟																									
建物養生	●——●																								
内装・石綿撤去	●——●																								
建物解体			●——●																						
土間基礎地下解体						●——●																			
杭撤去															●——●										
B棟																									
建物養生		●——●																							
内装・石綿撤去		●——●																							
建物解体			●——●																						
土間基礎解体					●——●																				
杭撤去															●——●										
C棟																									
建物養生							●——●																		
内装・石綿撤去							●——●																		
建物解体									●——●																
土間基礎解体											●——●														
杭撤去															●——●										
D棟・E棟																									
建物養生		●——●		●——●																					
内装・石綿撤去			●——●																						
建物解体				●——●		●——●																			
土間基礎解体				●——●		●——●																			
杭撤去															●——●										
その他撤去																									
その他建物解体等												●——●													
外構撤去・測量等	●——●																								

天候・交通事情等のより
進捗が工程と異なる場合があります。

凡例
●——● 音と振動が強い期間を示す



【解体工事の概要】

1 作業時間および休日について

- ① 作業時間： 午前8時 ～ 午後5時
（作業時間の前後1時間程度、作業員の入退場及び準備作業、片付けが有ります。）
- ② 休工日：土曜日、日曜日、祝日
- ③ GW休工：2025年5月3日～2025年5月6日
- ④ 夏季休工：2025年8月13日～2025年8月17日
- ⑤ 冬季休工：2025年12月27日～2026年1月4日
- ⑥ GW休工：2026年5月3日～2026年5月6日
- ⑦ 夏季休工：2026年8月13日～2026年8月16日
※休工日変更の際はお知らせさせていただきます。

- ⑧ 下記の場合には前記①・②にかかわらず作業を行うものとします。
 - 1) 危険回避のための緊急の場合
 - 2) 道路交通法などにより、時間的に車両規制を受ける作業
（所轄警察署等の指導に基づき行います。）
 - 3) 交通渋滞・事故等の理由によりやむを得ない事情が生じた場合
 - 4) 暴風雨・地震等の緊急時の安全維持作業

2 騒音、振動、粉塵の抑制について

工事用機械装置、運搬車、工具等の使用にあたっては、関係法令で定められた規制基準値を遵守するとともに、騒音、振動の抑制のために適切な使用機械および使用工法の選定について十分留意して作業いたします。また、粉塵等が生じる作業につきましては、飛散防止のため十分な散水を行います。

3 災害防止について

工事期間中は一般歩行者の安全ならびにご近隣建物の保全に十分配慮し、以下の事項を厳守して工事にあたります。

- ① 敷地境界に沿って仮囲い（アドフラット・防音パネル・防災シート）等を設置し工事関係者以外の立ち入りを防止します。
- ② 解体建物には、防音シート、防音パネル等を設置して場内からの落下物、飛散物による事故防止を図るとともに騒音の抑制に努めます。
- ③ 工事車両の出入口には、適宜交通誘導員を配置して、一般歩行者並びに通行車両に対して安全上の誘導・監視を行い、安全を確保します。
- ④ 現場周辺の道路には、工事車両および工事関係者が使用する車両を違法駐車させないよう徹底いたします。
- ⑤ 道路汚損防止のため、常に現場周辺道路の清掃を行います。
- ⑥ 搬出車両が工事敷地内から公道へ出る際、タイヤなどに付着した泥や粉塵の周辺への汚損並びに飛散防止のため、車両の洗浄を行います。
- ⑦ その他、交通関係法規を厳守し所轄警察署の指導のもと交通安全対策に努めます。

4 現場管理について

解体工事に伴う作業員の風紀維持・火災予防・衛生管理のため、責任をもって現場作業所の管理運営を行います。

5 隣接建物などの保全について

ご近隣の家屋等に損傷を及ぼさないよう工事工法を選定し万全の対策を行います。また、隣接する家屋等の現況を確認させて頂き、必要に応じ皆様にお立会いをお願いし専門業者による家屋調査及び写真撮影等を実施し記録を作成させていただきます。

6 建設廃材について

解体工事により発生する建設廃材は、建設リサイクル法に基づき敷地内にて分別し、行政指導に基づいてリサイクルまたは処分いたします。

7 アスベストについて

新生株式会社により2024年10月2日までに実施したアスベスト含有の事前調査の結果アスベストが確認されています。使用箇所及び処理方法につきましては別紙「アスベストの除去について」のとおりです。関係法令を遵守し、作業方針に基づいて除去及び処理を行います。また、工事期間中に調査を行っていないアスベストの含有が懸念されるものが出てきた場合速やかに分析・調査を行い適切に処置を行います。

8 その他有害物質について

解体建物の現地調査の結果、フロンガスの使用機器が確認されています。その他有害物質についても着工前に調査を行い、使用が確認された場合は各法令を遵守し作業方針に基づいて除去および処理を行います。

9 ねずみ・害虫駆除について

着工前にねずみ・害虫駆除の衛生対策を講じてから工事に着手します。

10 工事期間中の窓口について

工事期間中は現場事務所を設置します。現場責任者・職員がご近隣の皆様との窓口となり問題が生じたときは、その都度協議を行い、その解決に努力します。

担当：株式会社エイワ産業東京支店 佐藤 順一郎
電話： 03-5425-6395
携帯： 080-8373-5777

【アスベストの除去について】

●使用箇所及び種類

設計図書、調査機関による分析、目視による既存建物のアスベスト事前調査を実施いたしました。
 新生株式会社により2024年10月2日までに実施した事前調査の結果、使用建材へのアスベストの含有が確認されております。

使用箇所別アスベスト含有建材（有無記載：有は分析の結果、みなしは含有とみなしております）

A棟使用箇所	有無	レベル	使用材
各階 配管エルボ	有	2	保温材
各階ダクトフランジ部・配管フランジ部	有	3	パッキン・ガスケット
各階Pタイル	有	3	床材
南側一部外壁仕上材	有	3	セメント系下地材
B1F~2Fケイ酸カルシウム板1種（有孔含む）	有	3	天井材
1F作業所、2F事務所、床塗材	有	3	セメント系下地材
1F作業場ダクト廻り	有	3	パルプセメント
1F~3F一部、巾木・Pタイル	有	3	接着剤
2F 事務室 吸音テックス	有	3	天井材
屋上防水層	有	3	アスファルト防水材
屋根防水層	有	3	アスファルトフェルト
各階、Pタイル張替部	みなし	3	床材
各階点検口、化粧石膏ボード、岩綿吸音板張替部	みなし	3	天井材
1F試験室等、配管小口	みなし	3	シール材
2F旧見学通路手摺板フレキボード	みなし	3	隔て板

B棟使用箇所	有無	レベル	使用材
1F パッケージ室(南) 配線管小口	有	3	シール材
1F廻り（GL+1.5m程度）外壁仕上材	有	3	セメント系下地材
3F渡り廊下、長尺シート、廊下、巾木、物入(南)Pタイル	有	3	接着剤
3F 男子便所(南) 配管フランジ部	有	3	パッキン・ガスケット
3F 食堂(2)柱クロス	有	3	仕上材
3F 湯沸室(北)流し台裏打 ケイ酸カルシウム板第1種	有	3	壁材
屋上防水層 露出アスファルト防水	有	3	アスファルト防水材
1F長尺シート	みなし	3	床材
各階点検口、岩綿吸音板張替部	みなし	3	天井材

C棟使用箇所	有無	レベル	使用材
1F 空調機室 配管エルボ	有	2	保温材
5Fハロンボンベ室 貫通部ケイ酸カルシウム板第2種	有	2	断熱材
1F外部軒裏 ケイ酸カルシウム板第1種	有	3	軒裏材
1F外壁(西面・柱)仕上材	有	3	セメント系下地材
1Fピックアップ室 床長尺塩ビシート、廊下巾木	有	3	接着剤
5F廊下巾木、EVかご内床	有	3	接着剤
各階 耐火二層管	有	3	設備管
各階 配管フランジ部、ダクト連結部	有	3	パッキン・ガスケット・たわみ継手
各階 床ケーブル貫通部	有	3	シール材
4F旧物入 ダクト廻り仕上塗材	有	3	塗材
各階便所壁ケイ酸カルシウム板第一種/耐水石膏ボード	有	3	壁材
4F床OA	有	3	床材
各階天井・壁・貫通部 ケイ酸カルシウム板第一種	有	3	天井・壁・隔て材
A階段裏吹付材/下地層	有	3	セメント系下地材
屋上防水層(ブロック下) アスファルト防水	有	3	アスファルト防水材
屋上 ハト小屋外壁仕上材	有	3	セメント系調整材
各階点検口、化粧石膏ボード、岩綿吸音板張替部	みなし	3	天井材
各階、Pタイル張替部	みなし	3	床材
3F長尺シート張替部	みなし	3	床材

D棟使用箇所	有無	レベル	使用材
各階 配管エルボ	有	2	保温材
外壁・軒裏仕上材	有	3	仕上塗材
各階 壁 ケイ酸カルシウム板第一種	有	3	壁材
1F床長尺シート	有	3	接着剤
便所 天井 フレキシブルボード	有	3	天井材
天井 岩綿吸音板/下地石膏ボード	有	3	天井材
4F B倉庫 壁石膏ボード(2枚貼り)	有	3	壁材
各階巾木	有	3	接着剤
4F・5F Pタイル	有	3	床材
各階 配管フランジ部、ダクト連結部	有	3	パッキン・ガスケット・たわみ継手
屋上アスファルト防水	有	3	アスファルト防水材
1F~3F Pタイル	みなし	3	床材
各階点検口、化粧石膏ボード、岩綿吸音板張替部	みなし	3	天井・壁材
押出成形セメント板	みなし	3	床材

E棟使用箇所	有無	レベル	使用材
各階 配管エルボ	有	2	保温材
外壁スレートボード(サンドイッチパネル)	有	3	外壁材
各階 ケイ酸カルシウム板第1種	有	3	壁材
各階 配管フランジ部	有	3	パッキン・ガスケット
外部 軒裏 ケイ酸カルシウム板第1種	有	3	軒裏材
各階 巾木	有	3	接着剤
各階 Pタイル	有	3	床材
屋根防水層	有	3	アスファルトフェルト

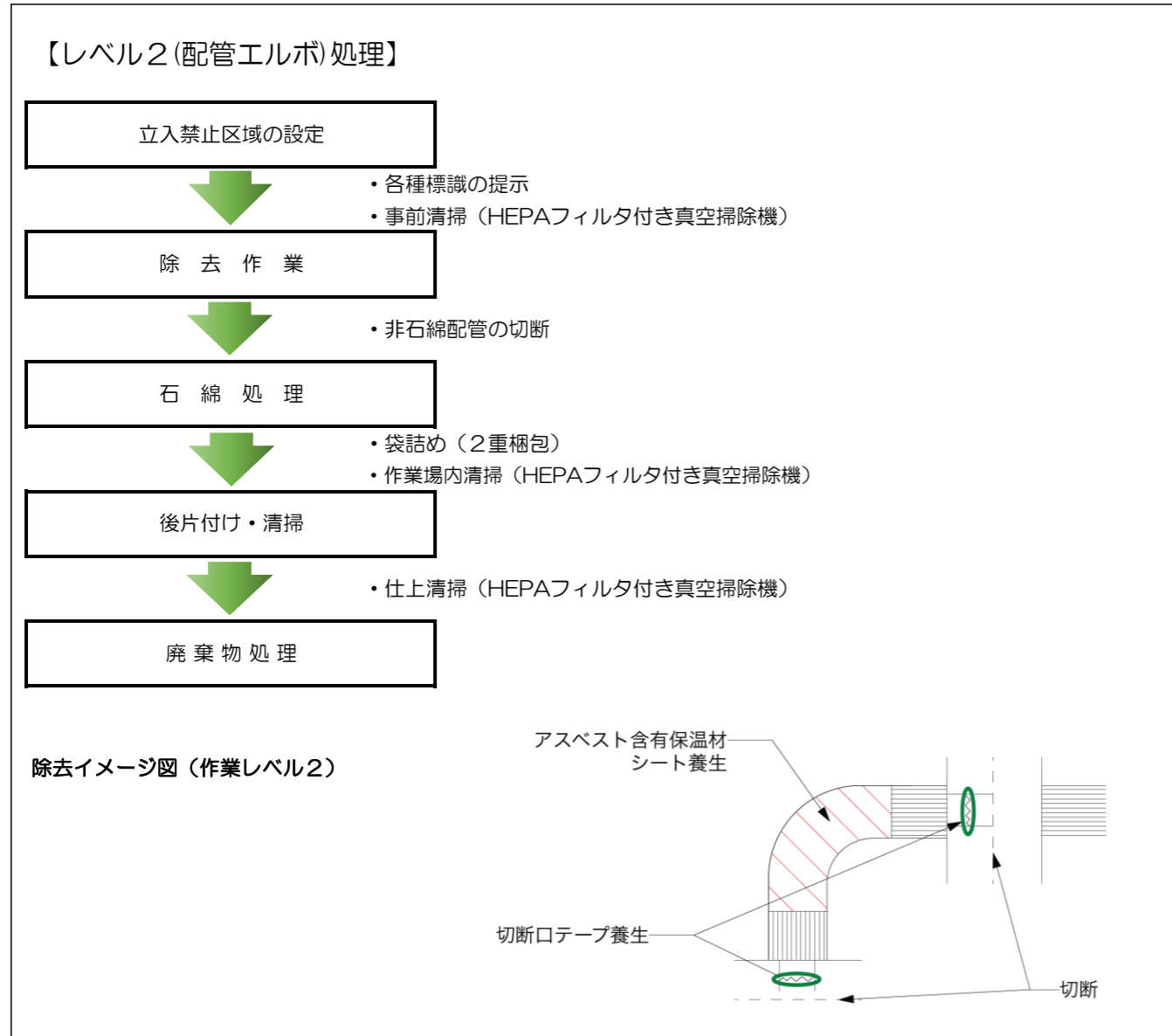
その他使用箇所	有無	レベル	使用材
外構南門門扉仕上材	有	3	セメント系下地材
ポンプ室 外壁 フレキシブルボード	有	3	外壁材
南守衛所 休憩室 巾木	有	3	接着剤
西守衛所 休憩室 巾木	有	3	接着剤

レベル区分について

作業レベル	レベル1	レベル2	レベル3
建材の種類	石綿含有吹付け材	石綿含有保温材 耐火被覆材、断熱材	その他の石綿含有建材 (成形板等)
発じん性	著しく高い	高い	比較的低い

【アスベストの除去について】

アスベスト除去手順

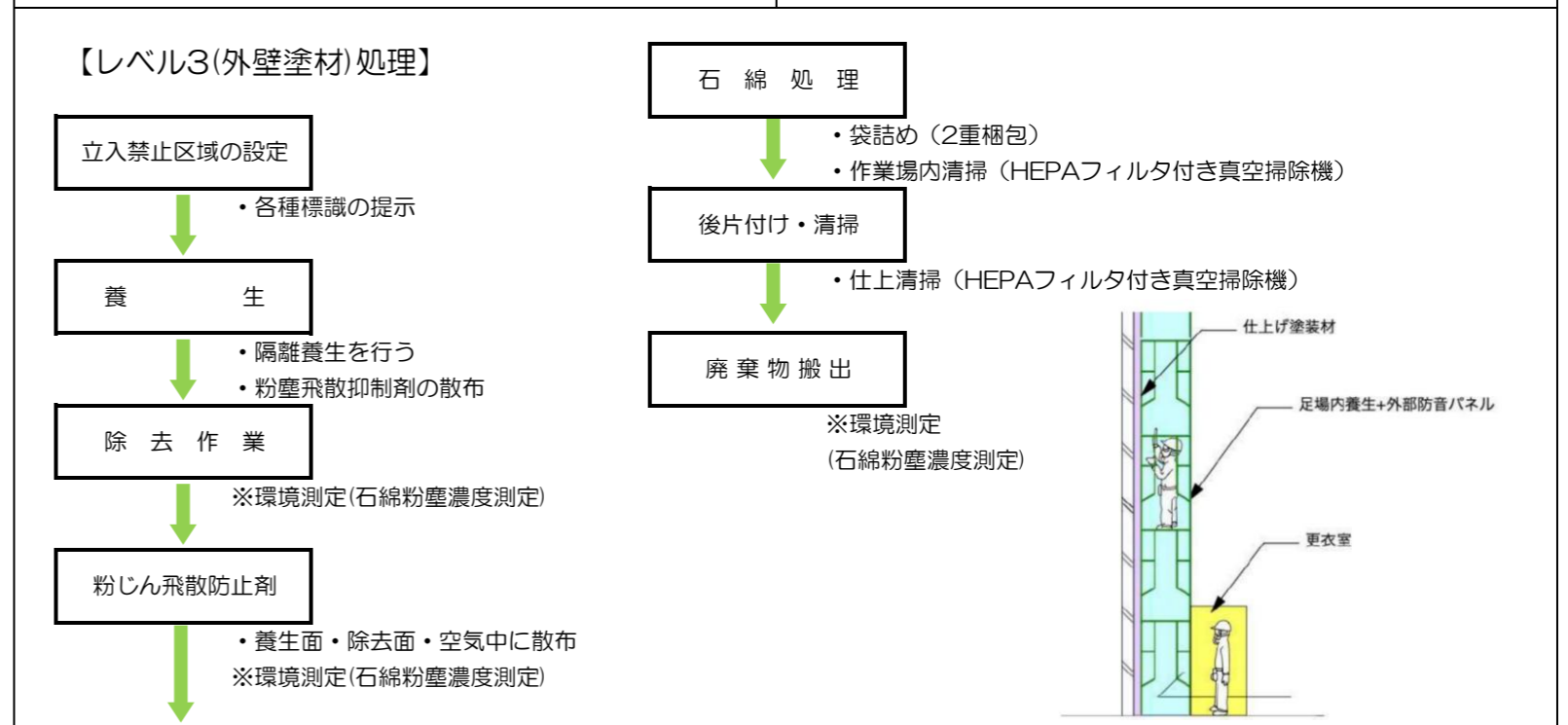
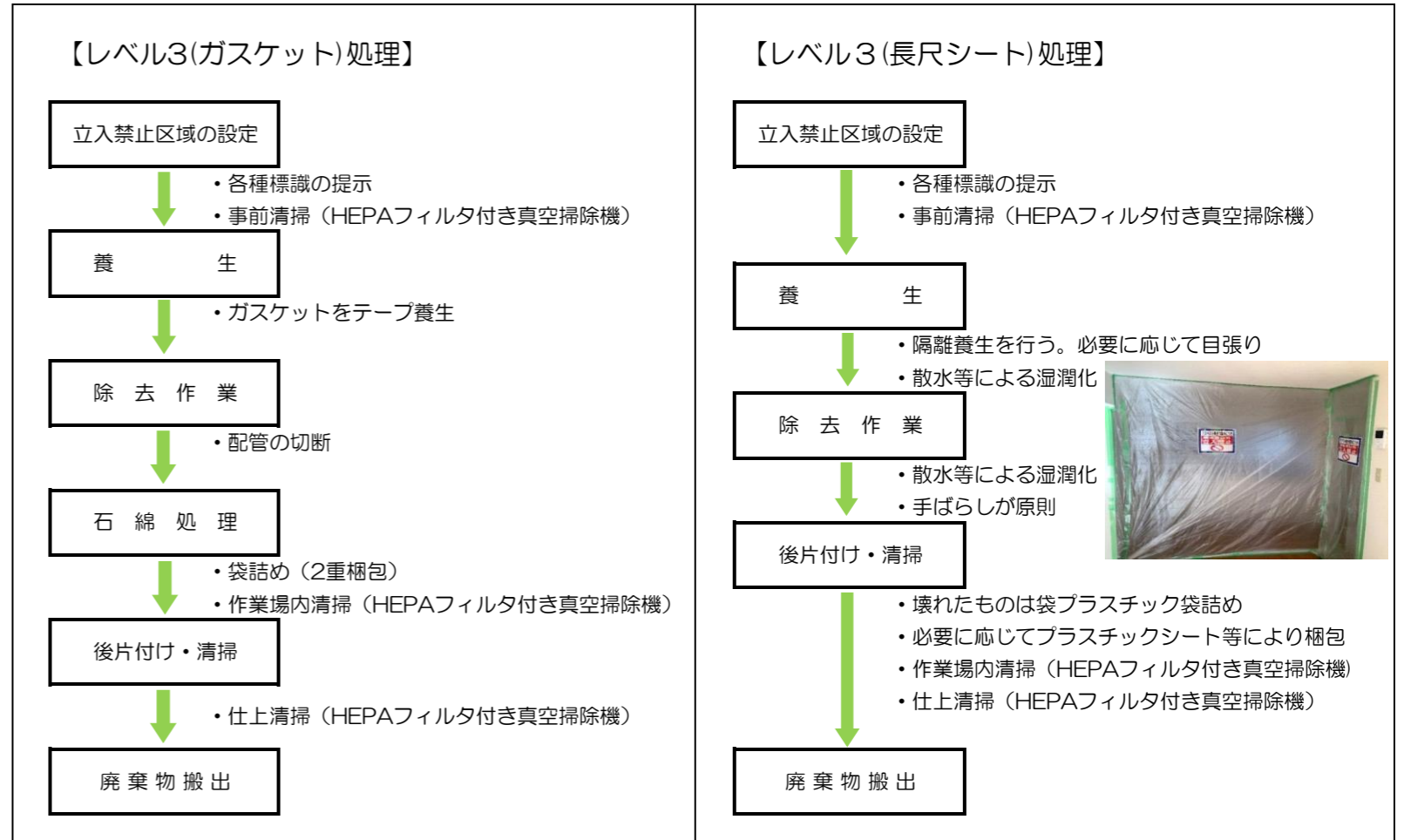


石綿含有産業廃棄物の保管および搬出について

石綿含有産業廃棄物の一時保管	除去した石綿含有建材は、石綿含有産業廃棄物として他の廃棄物と混合しないよう区分し、飛散防止措置 (袋詰め、シート掛け等) をして一時保管します。
施工区間の清掃養生シートの撤去	除去した石綿が残らないよう高性能真空掃除機等で清掃を行います。なお、保護具等は石綿含有産業廃棄物として処分します。
石綿含有産業廃棄物の搬出及び処理	シートで覆います。除去作業終了後、石綿含有産業廃棄物を場外へ搬出します。搬出時は荷台を搬出 (収集運搬、処分) は、石綿含有産業廃棄物の処分業・運搬業の許可を受けた適正な業者に委託し、石綿含有産業廃棄物として他の廃棄物と混合しないように収集運搬・処分します。(原則、最終処分場へ直送)

※作業方法は諸官庁と協議し承認された後、撤去作業を行います。
 ※それぞれの建材に合わせた、飛散しない適切な工法で除去するためアスベストが外部に飛散する心配は有りません。

アスベスト除去手順



【解体工事のイメージ】

清掃



外部養生（仮囲い・ゲート）



内装解体



建物養生（防音パネル）



散水



建物解体



【留意事項】

- 工事敷地道路外周を仮囲い等で立ち入り禁止養生します。
- 解体する各建物に防音パネル、防音シート、防炎シートを用いて、騒音抑制と粉塵飛散防止の養生をします。
- 工事搬出入車両の出入り際には誘導員等を配置し、適切・安全な誘導を行います。
- 解体作業時は散水を適宜行い、粉じん飛散の抑制に努めます。
- 作業中は重機旋回範囲内を立ち入り禁止区画とするなど、現場内で事故を起こさないよう注意徹底します。
- 現場内は整理整頓し、資材やゴミ・ほこりの周囲への飛散を防止します。
- 振動・騒音に極力配慮した工法・機械を選定し作業を行います。
- 現場の内外の清掃を徹底します。